

**和田あき子** 県議の11月県議会での一般質問の要旨をお知らせします。  
一般質問、答弁の全文はホームページの[議会の様子](#)からご覧いただけます。



## ＊ ＊ 台風19号災害対策について ＊ ＊

**和田** 指定の県有施設について、自治体から要請があれば避難所となることがあるが、その際しっかり対応できるよう、ガイドライン等で徹底すべきでは。

**危機管理部長** 今年5月に策定した長野県避難所運営マニュアル策定指針を、市町村とともに全部局に対しても周知したところだ。次の災害に備え、再度周知徹底していく。

**和田** 浅川総合内水対策計画をもとに、ポンプの増強や貯水地の整備等対策を打ってきたが、災害は起きた。遊水地や田んぼダムを位置付けた計画の見直しが必要では。

**知事** 今回は浅川の内水氾濫と千曲川の外水氾濫の影響が混在した複合災害で、計画を直ちに評価するのは難しい。現在、外水氾濫の影響を除いた内水氾濫のみを再現するシミュレーションを実施しているので、結果を踏まえ新たな対策が必要か検討する。

**和田** 確かに今回は複合災害だが、被害は甚大だ。それを重く受け止め、十分な検討を。

## ＊ ＊ 長野県公立高等学校入学者選抜制度の改正について ＊ ＊

**和田** 入学制度を大きく変更するのに、説明が十分ではない。さらに説明の機会が必要では。児童生徒、保護者、小中学校高校の先生方の意見をよく聞いてほしい。

**教育長** 10月は小中学校の先生方と意見交換、11月には児童生徒、保護者対象の説明会を実施し、幅広い意見をいただいた。さらに小学校6年生及び中学校1年生全員にパンフレットを配布し、質問等含め意見をいただいたところだ。

**和田** 前期選抜に学力検査を導入、後期選抜には各校の募集の観点に基づいたその他の検査が加えられるなど、受験生や保護者、指導する教職員の負担は増すばかり。2022年の実施ありきで、今月中に新たな入試制度を決定するのはあまりに拙速だ。時間をかけて慎重に進めるべきでは。

**教育長** より良い制度改正を目指して、段階を踏んで新たな選抜制度導入に向けた検討を進めてきているところで、いただいた意見等を慎重に精査し、考え方をまとめ、成案につなげていく。

### 質問を終えて

高校入試制度の変更に向けて、2022年実施ありき、生徒・保護者・教職員の負担は計り知れません。過度な競争につながる制度にならないよう、声を上げましょう。